

市の人口と予算（10月1日現在）

| 人口・世帯（ ）内は前月比／前年同月比 | |
|---------------------|----------------------------|
| 合計 | = 179,127人 (+282 / +4,690) |
| 男 | = 88,575人 (+134 / +1,923) |
| 女 | = 90,552人 (+148 / +2,767) |
| 世帯 | = 73,316世帯 (+149 / +1,467) |
| 予算 | |
| 一般会計 | = 527億7,750万円 |
| 特別・事業会計 | = 465億6,760万1千円 |

特集：流山市名誉市民の決定



平成18年、市制施行40周年を記念して開催された「後藤純男展」

日本画家・後藤純男氏 本市初の名誉市民に

市では、広く社会の発展または文化の興隆に功績のあった市民の方に対し、その功績と栄誉を称え「名誉市民」の称号を贈る「流山市名誉市民条例」を、今年6月27日に施行しました。

この度、国内外で活躍される日本画家の巨匠・後藤純男氏を、本市初の名誉市民に決定しました。今号では、後藤氏の主な功績や、来年1月に開催する市制施行50周年記念「後藤純男絵画展」(4面参照)などについて紹介します。

名誉市民とは…

本市では、今年6月に開かれた平成28年流山市議会第2回定例会における議決を経て、「流山市名誉市民条例」を制定しました。その後、7月28日に同条例施行規則の規定に基づく表彰審査会において、日本画家の後藤純男氏を全会一致で名誉市民候補者として決定し、同年市議会第3回定例会において、市議会に同意をいただき、9月1日、同氏を本市初の名誉市民に決定しました。

流山市名誉市民条例は、広く社会の発展または文化の興隆に功績のあった者に対し、「流山市名誉市民」の称号を贈ることにより、その功績と栄誉を称え、もって流山市に対する誇りや郷土愛の高揚に資することを目的としています。



上富良野のアトリエにて(平成23年)
写真:後藤純男美術館提供

後藤純男先生のご活躍を 流山市の誇りに



流山市長
井崎 義治

このほど、議会のご同意をいただき、国内外から高い評価を得ておられる世界屈指の日本画家・後藤純男先生に「流山市名誉市民」の称号を推戴申し上げることにしました。

私の父も画家でありましたので、後藤先生のように多くの作品を、また大作を描き続けることがどれほどのエネルギーを要するものか、推察するに難くありません。

後藤先生の作品は、静寂な風景の中に幽玄な自然の美しさや、社寺の凛とした佇まいを、繊細かつ力強く描かれ、見るものに衝撃と深い感動を与えます。

来年1月には、市制施行50周年を記念した後藤先生の絵画展を企画しております。市民の皆様には、日本画壇を代表する後藤先生の作品の数々を、ぜひ、この機会にご覧いただきたいと思っております。

後藤純男先生の流山市初の 名誉市民決定を祝って



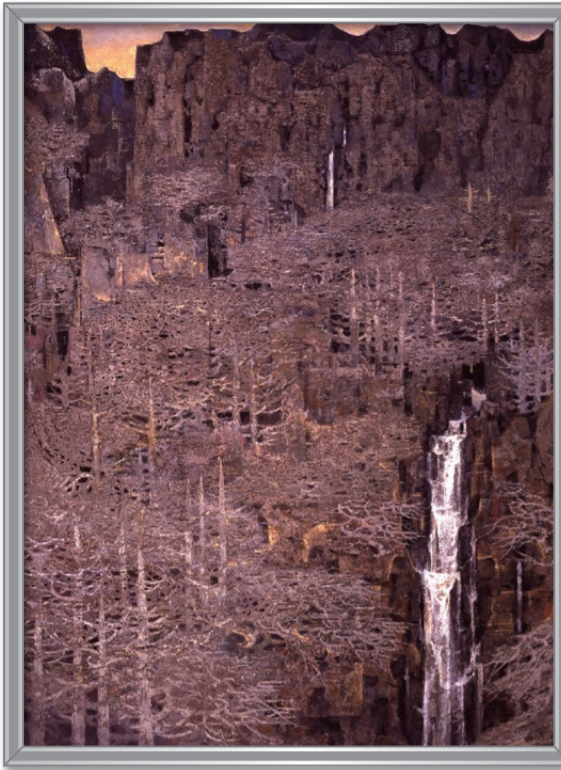
流山市議会議員
海老原 功一

この度は、後藤純男先生が流山市初の名誉市民となりましたこと、誠にめでたくございます。

先生におかれましては、日本に留まらず世界でご活躍され、日本美術界の発展に多大なるご貢献をされていらっしゃいますが、その中で、流山市美術家協会の創立会員として名を連ね、永年にわたり流山市の芸術・文化活動の発展に後藤先生が寄与されていることは、同協会の皆様のみならず、流山市民の誇りであります。

市議会といたしましても、今回の後藤先生の名誉市民の決定を契機に、流山市民の芸術・文化活動がますます隆盛することを期待しています。

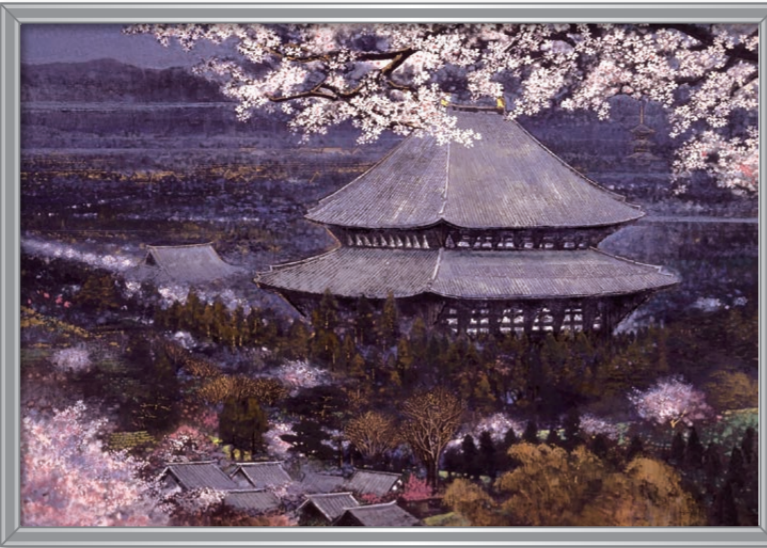
結びに、後藤先生の今後さらなるご活躍を心から祈念いたします。お祝いの言葉といたします。



第50回院展 日本美術院賞・大観賞受賞作「寂韻」



第61回院展 文部大臣賞受賞作「仲秋」



第53回春の院展出品作「春映奈良」

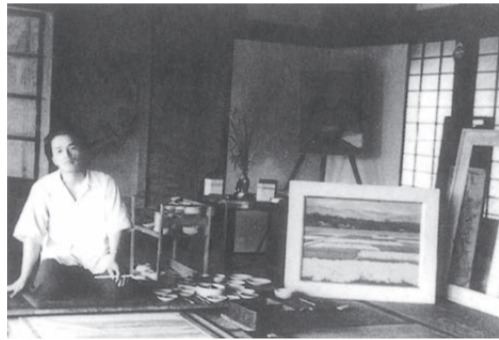


第72回 日本芸術院賞・恩賜賞受賞作「大和の雪」

後藤純男氏の画業71年の歩み

画家としてデビュー 22歳で画業に専念 日本美術院展覧会(院展)に初入選

16歳で日本画家・山本丘人に師事し、本格的に絵の勉強を始めた後藤氏は、22歳で日本美術院展覧会(院展)に初入選。その後、院展で日本美術院賞・大観賞、文部大臣賞、内閣総理大臣賞などを受賞されました。昭和63年には東京藝術大学美術学部の教授に就任。約10年間にわたり後進の育成に努め、今年4月に同大学名誉教授に就任されました。



本堂の片隅のアトリエ (昭和27年)



第37回院展の初入選作「風景」

国際的な活躍 フランス・パリで、後藤純男展を開催 (平成7年)

後藤氏の作品は世界も魅了します。平成7年、画業50年を記念してフランス・パリ「三越エトワール」で開催された後藤純男展は、記録的な入場者を数え盛況を博しました。



パリ・三越エトワールにて (平成7年)

※作品などの写真は後藤純男美術館提供

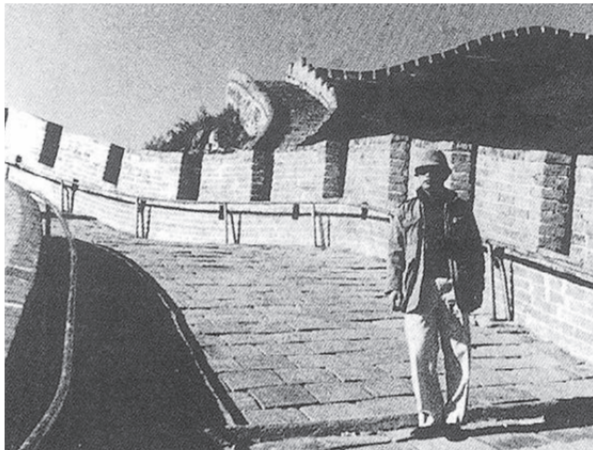
| 年号(西暦) | 主な経歴 |
|----------------|---|
| 昭和5(1930)年1月 | 東葛飾郡木間ヶ瀬村(関宿町を経て現在は野田市)で、寺の住職の次男として生まれる。 |
| 昭和21(1946)年 | 山本丘人に師事し、本格的に絵の勉強を始める。後に、山本丘人の紹介で田中青坪に師事。 |
| 昭和27(1952)年9月 | 第37回日本美術院展覧会(院展)に「風景」出品。初入選となる。 |
| 昭和37(1962)年9月 | 流山市(当時:流山町)江戸川台東に転居。 |
| 昭和38(1963)年 | 埼玉県松伏町にアトリエを構える。 |
| 昭和40(1965)年9月 | 第50回院展に「寂韻」出品。日本美術院賞・大観賞を受賞。 |
| 昭和51(1976)年9月 | 第61回院展に「仲秋」出品。文部大臣賞を受賞。 |
| 昭和54(1979)年7月 | 現代日本絵画展(中国巡回)に出品。代表団の一員として、初めて中国を訪問。 |
| 昭和61(1986)年9月 | 第71回院展に「江南水路の朝」出品。内閣総理大臣賞を受賞。 |
| 昭和63(1988)年4月 | 高野山東京別院の庫裡書院に襖絵奉納。 |
| 平成3(1991)年 | 北海道土富良野町にアトリエを構える。 |
| 平成5(1993)年 | 真言宗総本山長谷寺に襖絵奉納。 |
| 平成7(1995)年5月 | 画業50年 後藤純男展をフランス・パリで開催。 |
| 平成9(1997)年9月 | 上富良野町に「後藤純男美術館」を開館。 |
| 平成11(1999)年4月 | 東京・高幡不動尊金剛寺に襖絵奉納。 |
| 平成12(2000)年 | 日本美術院理事に就任。 |
| 平成13(2001)年1月 | 中国・西安美術学院に「後藤純男日本画工作室」が落成。 |
| 平成18(2006)年5月 | 春の叙勲にて旭日小綬章を受章。 |
| 平成18(2006)年11月 | 流山市制施行40周年記念「後藤純男展」を開催。 |
| 平成22(2010)年 | 松伏町制40周年記念「後藤純男展」を開催。 |
| 平成28(2016)年3月 | 大作「大和の雪」で、第72回日本芸術院賞・恩賜賞を受賞。 |

■ 現在

- 日本美術院同人
- 中国・西安美術学院名誉教授
- 流山市美術家協会名誉会員
- 北海道土富良野町特別名誉町民
- 東京藝術大学名誉教授
- 千葉県美術会名誉会員
- 埼玉県松伏町名誉町民

中国との交流 中国・西安美術学院に「後藤純男日本画工作室」が落成 (平成13年)

昭和54年、現代日本絵画展代表団の一員として、初めて中国を訪問した後藤氏は、その後、たびたび中国へスケッチ旅行に出かけられました。第71回院展・内閣総理大臣賞受賞作である「江南水路の朝」など中国の風景を描いた作品が数多くあります。また、平成13年に中国・西安美術学院に「後藤純男日本画工作室」が落成され、日本画教室を開講するなど、中国との親交や日本画の普及に尽力されました。



万里の長城スケッチ旅行 (昭和58年)



第71回院展 内閣総理大臣賞受賞作「江南水路の朝」

国内での評価 旭日小綬章を受章 (平成18年) 日本芸術院賞・恩賜賞を受賞 (平成28年)

広く文化の興隆への活躍と功績から、平成18年春の叙勲にて旭日小綬章を受章されました。平成28年には、大作「大和の雪」で第72回日本芸術院賞を受賞され、さらに受賞者の中から特に選ばれた方に贈られる恩賜賞も受賞されました。



旭日小綬章叙勲祝賀会 (平成18年)

※作品などの写真は後藤純男美術館提供

この度、流山市初の名誉市民として私の名を挙げていただき、大変光栄に存じます。昭和37年に江戸川台東3丁目(現)に移り住み、自宅から江戸川台駅が見えるほど住宅地の開発は始まったばかりで、雑木林も多く、特に江戸川流域には田園風景を描きながら通ったことも懐かしい思い出です。その流山市に待望のつくばエクスプレスが通ったことで、今や全国屈指の人口増加率の都市へと発展し、誠に喜ばしい限りです。中でも、

流山市名誉市民の称号授与に寄せて

後藤 純男



写真：後藤純男美術館提供

新しく生まれた「流山おおたかの森」という駅名は、本当に素晴らしいと思います。動植物が豊かに暮らせる街は、人々にとりましても然り。自然と共存共栄し、芸術文化も身近にある。そんな豊かな暮らしを、誰もが美意識で流山であっていただきたいと願っております。流山市民の皆様、そして関係各位に心より御礼、感謝申し上げますとともに、名誉市民として流山市の芸術文化のさらなる向上に貢献できまよう努力して参ります。

流山市への貢献 芸術・文化の振興に尽力

市役所などで、たびたび作品展を開く

昭和37年、当時の流山町江戸川台に居を構えた後藤純男氏。昭和52年、流山市美術家協会設立の際は創立会員として名を連ね、同協会主催の市展へ出展されました。流山市役所第1庁舎が新築された昭和62年4月から数年にわたって、同庁舎1階「市民ギャラリー」に自身の作品を無償で展示していただきました。



市民ギャラリーでスピーチをする後藤氏(平成16年)



市民ギャラリー作品展の様子(平成16年)

さらに、平成16年1月と8月には、同ギャラリーで作品展を開催。第53回春の院展出品作「春映奈良」をはじめ、数多くの名作を展示していただくなど、市内の文化芸術の振興に尽力いただきました。

生涯学習センターでの「後藤純男展」

流山市制施行40周年を記念して、平成18年に生涯学習センターで開催された「後藤純男展」では、市内外を問わず多くの来場者を集め、好評を博しました。



「後藤純男展」のセレモニー (平成18年)



北海道・上富良野

後藤純男美術館

北海道上富良野町にある後藤純男美術館には、後藤氏の初期から最新作までの大作約130点が展示されています。同美術館は十勝岳の麓に位置し、2階からは雄大な十勝岳連峰や丘陵地帯が望めます。後藤氏が魅了された北海道の大自然を感じながらの作品鑑賞はいかがですか。



後藤純男美術館 (外観)



展示室

後藤純男美術館 ☎0167-45-6181

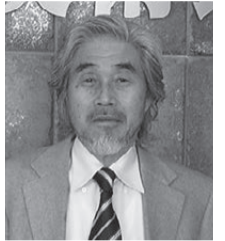
〒071-0524 北海道空知郡上富良野町東4線北26号
 ▷開館時間=9時~17時(11月~3月は16時まで)
 ▷休館日=年中無休(展示替えなどで休館の場合あり)
 ▷入場料=1,000円、小学生~高校生500円 ※団体割引引きなどあり

URL <http://www.gotosumiomuseum.com>

後藤純男の世界を多くの皆さまに

後藤純男美術館館長 行定 俊文さん

千葉県東葛飾郡の寺に生まれた後藤純男は、幼少期からほとんどの人生を江戸川近辺で過ごしてきました。今なお、田園に囲まれた長閑な暮らしでの思い出は鮮やかなようで、昔話に花を咲かせることも度々です。日常生活のみならず、風景画家として、戦後、貧窮した暮らしを余儀なくされる中、周辺の自然を丹念に観察し、特別な景観がなくとも季節、時間帯や光の陰影によって自らの絵を成り立たせる術を学んだことが、日本画家・後藤純男の基盤となっています。



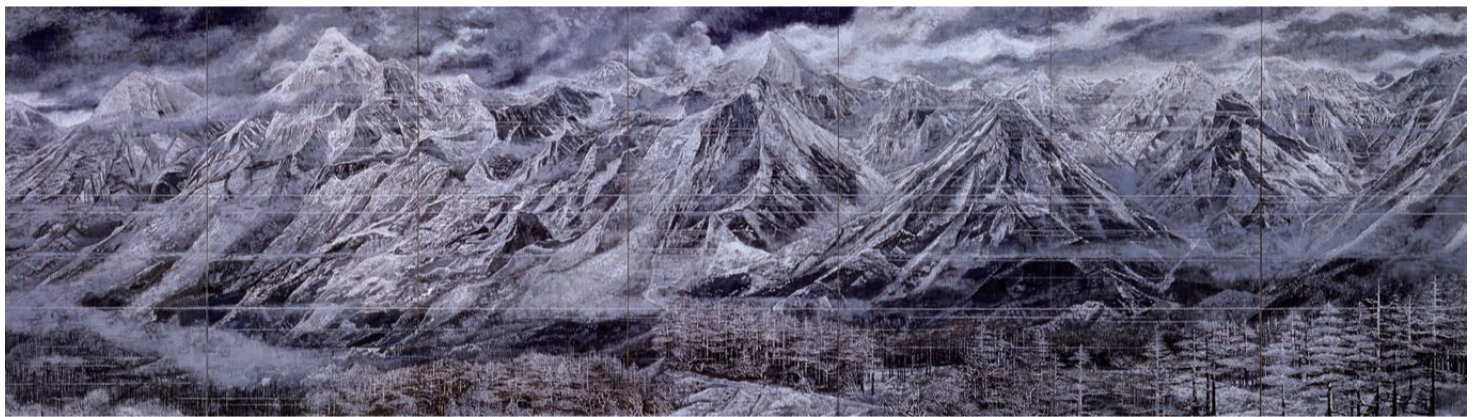
今回、その縁深い流山市で名誉市民の称号をいただいたことは、後藤本人はもとより、我々にとりましても本当に光栄なことです。

来年1月には、流山市制施行50周年記念の絵画展を開催していただきますが、流山に縁の作品をはじめ、美術館のある北海道の風景など、後藤純男の世界を多くの皆様にご覧いただき、この度の感謝の気持ちをお伝えできれば望外の喜びです。

後藤純男氏と北海道・上富良野

北海道の厳しい自然に惹かれた後藤純男氏は、平成3年に道内取材の拠点として、現在美術館のある同所にアトリエを構え、十勝岳連峰など道内の雄大な自然を題材にした作品を数多く描きました。

今年6月には、第72回日本芸術院賞・恩賜賞の受賞を機に、本画136点、素描画235点を上富良野町に寄贈。寄贈された作品は、後藤純男美術館で保管され、定期的に展示公開される予定です。



「十勝岳連峰」

※作品などの写真は後藤純男美術館提供

市制施行50周年記念

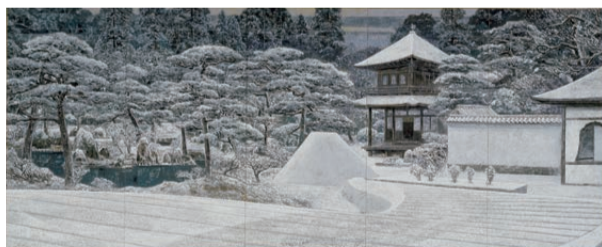
後藤純男絵画展を開催

見る者すべてを魅了する神々しいまでの光と荘厳の世界

平成29年
 1/22(日)~2/21(火)



「盛春塔映」



「庭園の新雪」



日野原重明氏の書「夢を」



市制施行50周年を記念して、10年ぶりに流山の地で、「後藤純男絵画展」を開催します。

本絵画展では、「日本の風景」「北海道」「中国」「桜花」「古都」「日本画と書」の6つのテーマ別に、大型の屏風を含めた名作32点を展示します。幽玄で繊細な画風で人々の心を揺さぶる作品の数々を、ぜひご堪能ください。

また、後藤氏と親交の深い医師・日野原重明氏(聖路加国際病院名誉院長)の書も4点展示します。

▷開催期間=平成29年1月22日(日)~2月21日(火)9時~

21時(2月15日(水)は休館)

▷場所=生涯学習センター(流山エルズ)

▷チケット代=前売400円、当日(一般500円、団体(5人以上)および高校生(学生証の提示が必要)400円)、中学生以下の方、障害者手帳をお持ちの方(介助者1人まで)は無料

※チケット発売時期や販売場所などの詳細は、今後、広報ながれやまなどでお知らせします。

【問い合わせ】生涯学習課 ☎7150-6106

※作品などの写真は後藤純男美術館提供

本紙に掲載した作品の写真は、後藤純男美術館の許可を得てモノクロで紹介しています。市ホームページ(☎31821)では作品をカラーで掲載していますが、繊細な色彩などは、ぜひ絵画展や後藤純男美術館でお楽しみください。